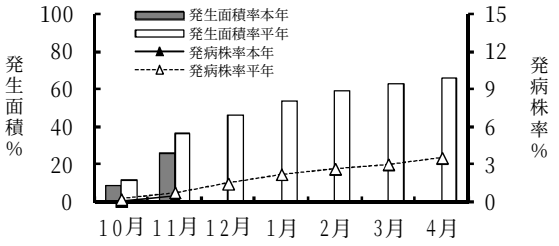
高知県病害虫防除所作成資料

平成24年12月5日

高知県病害虫発生予察11月月報及び予報第9号(12月)
野菜類ダイジェスト版

● 抑制･促成キュウリ(中央部･中西部･西部)

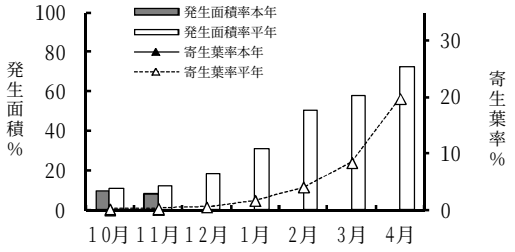
黄化えそ病　　発生量:やや少



キュウリ(抑制･促成栽培)における黄化えそ病の発生推移

黄化えそ病はやや少ない発生ですが、既発ほ場では増加傾向にあり、今後も発生面積は徐々に増加するものと思われます。発病株は伝染源となることから早期除去に努め、媒介虫のミナミキイロアザミウマの防除に努めてください。

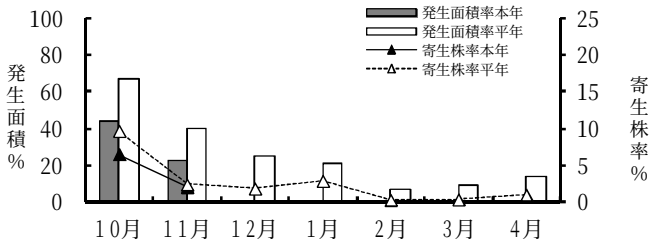
ミナミキイロアザミウマ　発生量:やや少



キュウリ(抑制･促成栽培)におけるﾐﾅﾐｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏの発生推移

ミナミキイロアザミウマは、平年よりやや少ない発生です。生長点部にいる場合は見つけにくく、薬剤もかかりにくいことや、密度が高くなると防除が困難になることから、初期防除の徹底及び丁寧な薬剤散布を心がけてください。

タバココナジラミ　　発生量:少

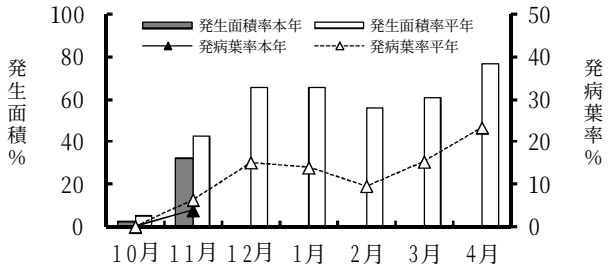


キュウリ(抑制･促成栽培)におけるﾀﾊﾞｺｺﾅｼﾞﾗﾐの発生推移

タバココナジラミは密度が急増しやすいので、初期防除に努めてください。

本虫が媒介する退緑黄化病(ＣＣＹＶ)の発生は全体的に少ない傾向ですが、中位葉が黄化する異常な株がみられましたら、感染の有無を確認しましょう。

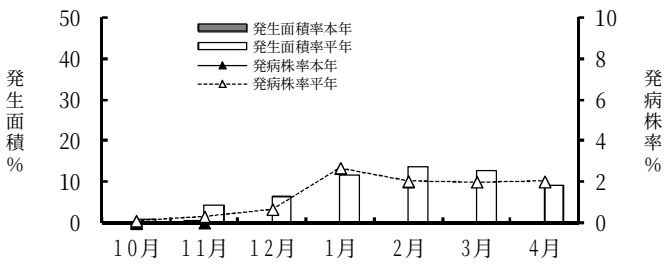
べと病　　発生量:やや少



キュウリ(抑制･促成栽培)におけるべと病の発生推移

べと病は全般にやや少ない発生となっています。今後も、平年を超えるような大きな増加はないと思われますが、蔓延すると、薬剤散布による防除は困難となりますので、早めに発見して防除を行うとともに、適正な温湿度及び肥培管理により草勢の維持を図ってください。

褐斑病　　発生量:少



キュウリ(抑制･促成栽培)における褐斑病の発生推移

平年に比べ少ない発生となっていますが、本病は、蔓延後の薬剤散布による防除は困難となりますので、早めに発見し、べと病との同時防除を行うとともに、適正な温湿度及び肥培管理により草勢の維持を図ってください。

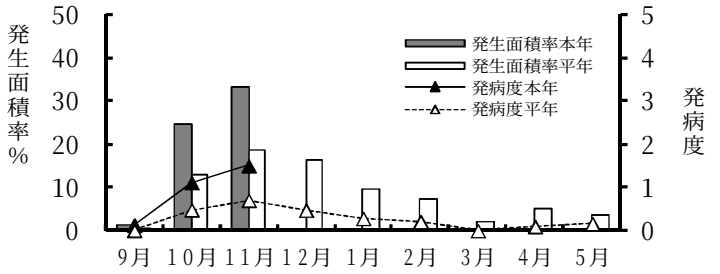
高知県病害虫防除所作成資料

平成24年12月5日

高知県病害虫発生予察11月月報及び予報第9号(12月)
野菜類ダイジェスト版

● 促成ナス(東部･中央部･西部)

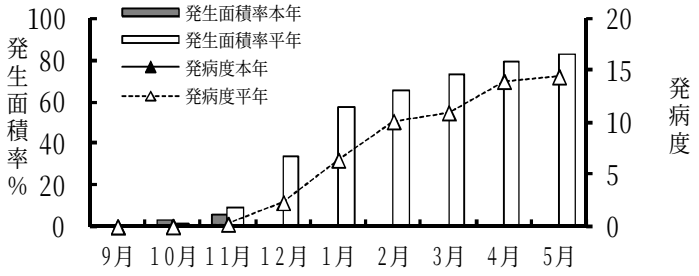
うどんこ病　　発生量:やや多



ナス(促成栽培)におけるうどんこ病の発生推移

県東部と中央部で発生がやや多くなっています。今後の気象が低温気味で、晴天が続くと予想されていることから、病勢の進展に注意し、早期に防除を行ってください。

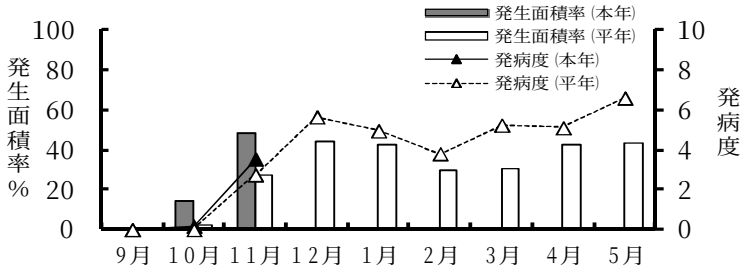
すすかび病　　発生量:やや少



ナス(促成栽培)におけるすすかび病の発生推移

県全域でやや少なめ発生となっています。今後の気象予想から発病を助長する要因は少ないですが、例年12月より発生が急増しますので、病勢の進展には十分ご注意ください。

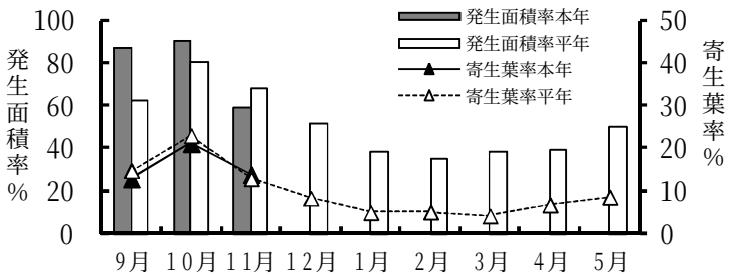
黒枯病　　発生量:やや多



ナス(促成栽培)における黒枯病の発生推移

県全域で、発生程度は高くないものの、発生面積が多くなっています。今後の気象予報では、気温が低い状態が続き、晴天日が多くなるとの予想です。発生を助長する気象条件ではないと思いますが、今後の病勢の進展に注意してください。

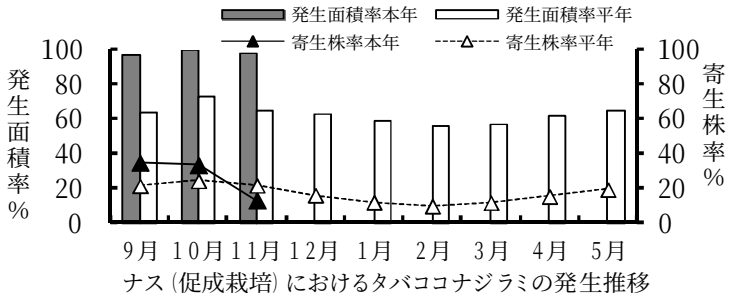
ミナミキイロアザミウマ　発生量:平年並



ナス(促成栽培)におけるﾐﾅﾐｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏの発生推移

県全域で発生は、やや少発生～平年並です。今後は低温傾向が続くことが予想され、急激な密度の増加はないと予想されます。天敵を放飼しているほ場で、本虫の密度が高いほ場では、微生物製剤や選択性殺虫剤等での防除が必要になります。

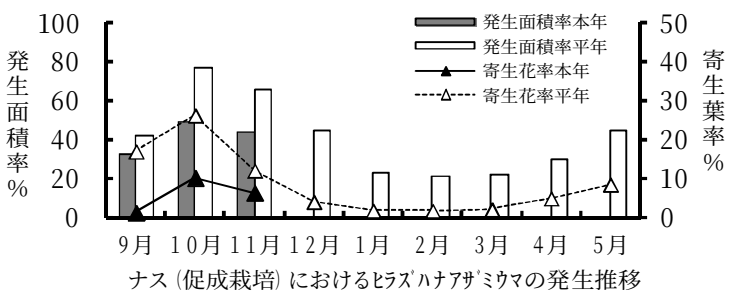
タバココナジラミ　　発生量:多



ナス(促成栽培)におけるタバココナジラミの発生推移

現在、県東部～中央部で発生面積が多くなっています。寄生株数は高くなく、天敵導入ほ場では成虫がわずかに見える程度の発生です。増加が早いので、微生物製剤や選択性殺虫剤等での防除により高密度にならない様に気をつけてください。

ヒラズハナアザミウマ　発生量:やや少



ナス(促成栽培)におけるﾋﾗｽﾞﾊﾅｱｻﾞﾐｳﾏの発生推移

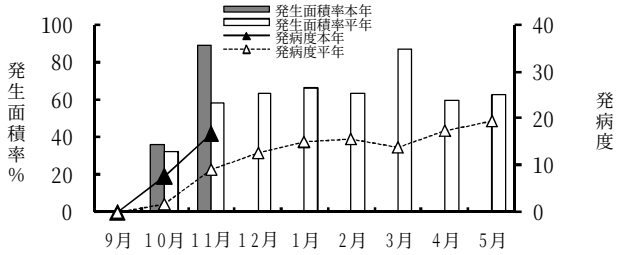
県中央部で平年並ですが、あとは少発生となっています。急激な密度の増加はないと思いますが、発生をよく観察し初期防除に努めてください。天敵導入ハウスでは薬剤の選定に留意してください。

平成24年12月5日

高知県病害虫発生予察11月月報及び予報第9号(12月)
野菜類ダイジェスト版

● 促成ピーマン(東部･中央部･中西部)

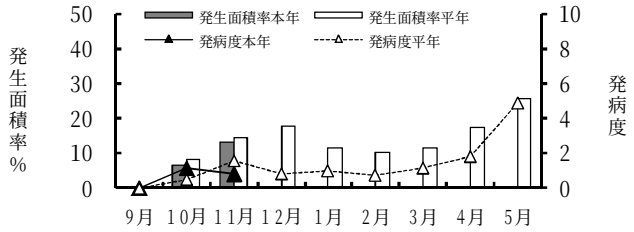
うどんこ病　　発生量:やや多



ﾋﾟｰﾏﾝ･ｼｼﾄｳ(促成栽培)におけるうどんこ病の発生推移

うどんこ病は県中央で多発生、全般的にもやや多発生となっています。向こう1ヶ月予報では気温は低く、降水量･日照量は平年並と予想されることから、今後も現在の発生状況が続くと思われます。蔓延すると防除が困難になるので、予防散布及び初期防除に努めてください。

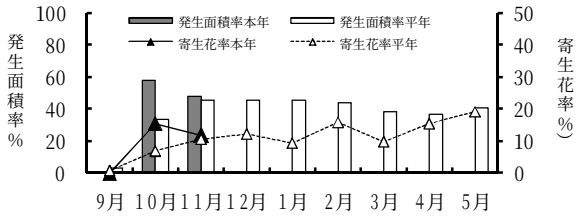
黒枯病　　発生量:平年並み



ﾋﾟｰﾏﾝ･ｼｼﾄｳ(促成栽培)における黒枯病の発生推移

黒枯病は県東部で多発生、全般的には平年並みの発生となっています。向こう１ヶ月予報からは、今後も現在の状況で推移すると思います。蔓延すると防除が困難になるので、予防散布及び初期防除に努めてください。散布の際は下葉や葉裏へのかけ残しのないように丁寧に散布してください。

ミナミキイロアザミウマ 発生量:平年並

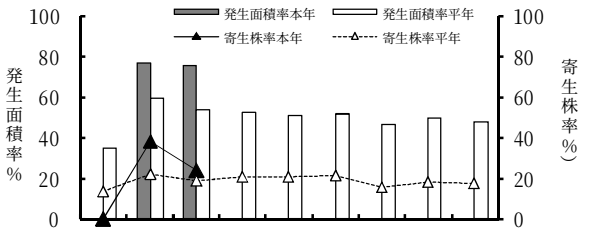


ﾋﾟｰﾏﾝ･ｼｼﾄｳ(促成栽培)におけるﾐﾅﾐｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏの発生推移

県東部ではやや多発生で、全体的には平年並の発生です。今後も現在の状況で推移すると思います。

初期防除を徹底するとともに、薬剤のローテーションを行い抵抗性の発達を回避してください。なお、天敵導入の場合は天敵への影響を十分考慮して使用薬剤を選定してください。

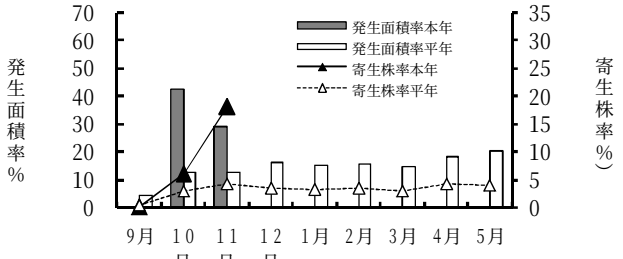
タバココナジラミ　　発生量:やや<u>多</u>



ﾋﾟｰﾏﾝ･ｼｼﾄｳ(促成栽培)におけるﾀﾊﾞｺｺﾅｼﾞﾗﾐの発生推移

全体的にやや多発生の傾向ですが、ほとんどが成虫の発生が見られる程度です。スワルスキーカブリダニがほとんどのほ場で導入され、定着が進んでいます。スワルスキーの定着の悪い場合には、初期防除に努めてください。防除に際しては天敵への影響を十分考慮して薬剤を選定してください。

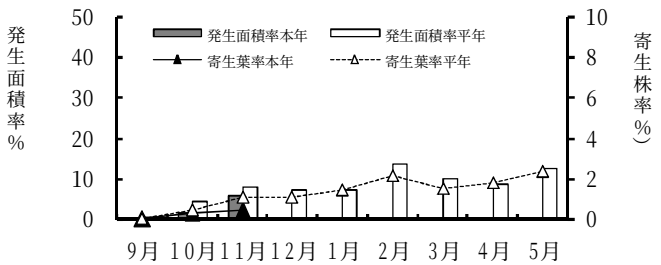
アブラムシ類　発生量:<u>多</u>



ﾋﾟｰﾏﾝ･ｼｼﾄｳ(促成栽培)におけるｱﾌﾞﾗﾑｼ類の発生推移

県東部から中央部でやや多から多発生となっています。密度が高くなると防除が困難となりますので、低密度時からの防除に心がけてください。天敵導入ハウスでは、ヒゲナガアブラムシ類の発生に注意しましょう。発生の場合は天敵に影響の少ない農薬を選定しましょう。

ハダニ類　　発生量:やや少



ﾋﾟｰﾏﾝ･ｼｼﾄｳ(促成栽培)におけるﾊﾀﾞﾆ類の発生推移

全般的にはやや少発生となっていますが、県東部では発生面積が多くなっています。密度が高くなると防除が困難となりますので、低密度時からの防除に心がけてください。また、防除に際しては天敵への影響を十分考慮して薬剤を選定してください。

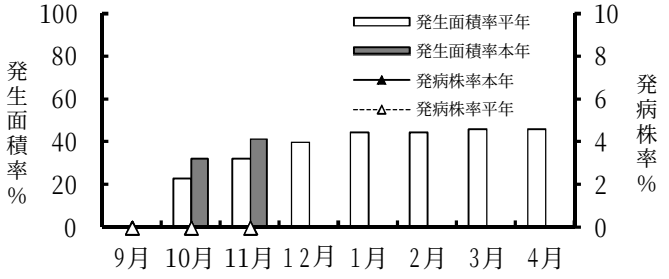
高知県病害虫防除所作成資料

平成24年12月5日

高知県病害虫発生予察11月月報及び予報第9号(12月)
野菜類ダイジェスト版

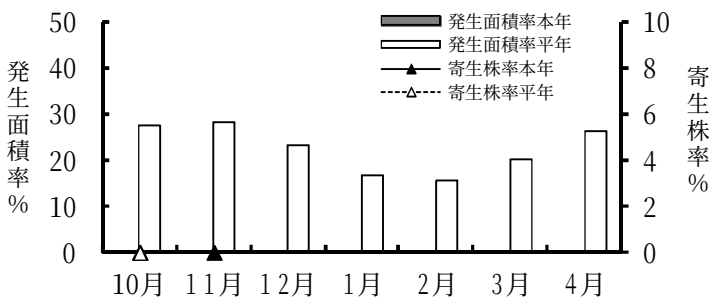
● 促成トマト(中央部)

トマト黄化葉巻病(TYLCV)　　発生量:平年並



トマト(促成栽培)における黄化葉巻病の発生推移

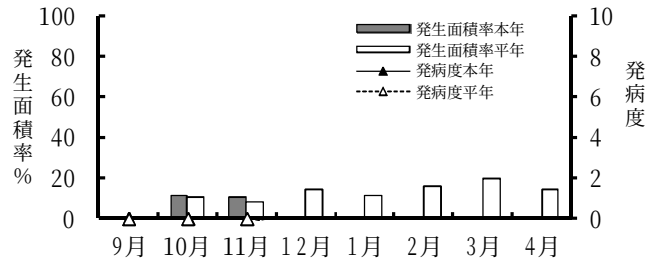
タバココナジラミ　　発生量:少



トマト(促成栽培)におけるﾀﾊﾞｺｺﾅｼﾞﾗﾐの発生推移

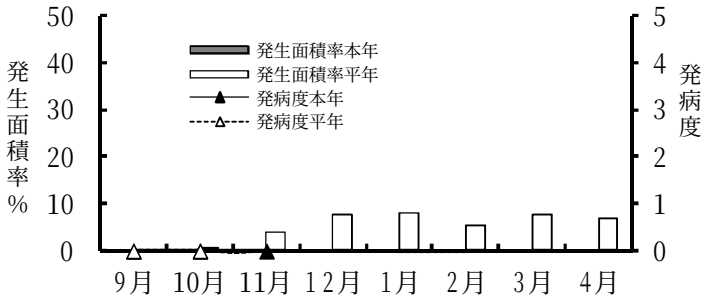
現在、黄化葉巻病は平年並、媒介虫であるタバココナジラミは少発生です。向こう1ケ月予報では気温は平年並か低い、降水量は平年並または少ないと見込まれることから媒介虫も増加する要素は少なく、いずれも現在の状態で推移すると思われます。タバココナジラミについては有効薬剤のローテーションによって、寄生密度の低減に努めてください。

すすかび病　　発生量:平年並



トマト(促成栽培)におけるすすかび病の発生推移

うどんこ病　　発生量:少



トマト(促成栽培)におけるうどんこ病の発生推移

すすかび病は平年並の発生で、うどんこ病は平年より少発生となっていますが、天候次第では一気に病勢が伸展する場合がありますので、注意してください。